

## 講演会のご案内

### 二酸化炭素排出削減に向けた国内外の技術動向 ～CCS(CO<sub>2</sub> Capture and Storage)プロジェクト～

主催 早稲田大学環境総合研究センター  
共催 電力技術懇談会, 日本 CCS 調査株式会社  
日時 2013年5月24日(金) 13:30～17:00  
会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 2F 03-05 会議室  
対象 本学教員・大学院・学部学生, 電力技術懇談会会員 ※全て無料です.

#### 開催趣旨

東日本大震災後の電力需給逼迫を契機に, 再生可能エネルギーに注目が集まっています. しかしながら, 現実には火力発電への依存度が極めて高くなっており, 当面は化石燃料に頼らざるを得ません. エネルギー資源において 21 世紀最初の 10 年は石炭が勝者でしたが, シェールガスに代表される非在来型資源の競争力の高まりに伴い, 世界的に勢力図が大きく変わろうとしています. 一方で, 国内のみならず, 新興国のエネルギー需要の増大に伴い, 温室効果ガスの主要因とされる CO<sub>2</sub> の排出削減は遅々として進んでいません. 今回は, 大規模な CO<sub>2</sub> 排出源における削減の切り札とされる二酸化炭素分離回収貯留技術 (CCS) に焦点を当て, エネルギー資源の最前線事情を皮切りに, 酸素燃焼による CO<sub>2</sub> 分離回収・貯留プロジェクト, さらに国内での CO<sub>2</sub> 貯留・モニタリング実証プロジェクトの情報が半日で得られる講演会を企画しました. 現在進行中の CCS の実証プロジェクトのリーダーから貴重な技術報告を聴講できる絶好の機会ですので奮ってご参加ください.

開場・受付 13:30～ 14:00 開始

司会進行: 中垣隆雄

○開催趣旨と早稲田大学環境総合研究センターにおける CCS 研究の紹介 14:00-14:10

環境総合研究センター CCS プロジェクト研究代表 中垣隆雄

○講演 1 「主要エネルギー資源国と資源輸送の最新事情」 14:10～15:10

元・石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 奥村直士氏

○講演 2 「豪州 酸素燃焼カライドプロジェクト」 15:10～16:00

(株) IHI エンジニアリングセンター開発部長 氣駕尚志氏

○講演 3 「苫小牧 CCS 大規模実証プロジェクト」 16:00～16:50

日本 CCS 調査(株) 取締役技術統括部長 阿部正憲氏

○閉会の辞 16:50～17:00

電力技術懇談会会長 早稲田大学教授 横山隆一

※2F ロビーエリアにおいて, カライドと苫小牧の CCS プロジェクトの展示を予定しております.